

令和2年度第2回浜松市地域包括支援センター 運営協議会会議録

1 開催日時 令和2年10月23日（金） 午後7時00分から午後8時00分

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 第3委員会室

3 出席状況

出席（10名）

小野宏志委員	才川隆弘委員	月井英喜委員	仲村秀子委員
梅田和寛委員	松岡徹委員	杉山晴康委員	宇佐美嘉康委員
窪野伸治委員	島谷秀明委員		

事務局（17名）

健康医療課	: 島次長
健康増進課	: 小山課長
介護保険課	: 徳田課長
高齢者福祉課	: 渡辺次長、鈴木担当課長、亀田補佐
地域包括ケア推進グループ	: 坂本 G 長、成瀬主幹、佐久間主任 近藤
各区 長寿保険課	: (中) 鈴木課長、(東) 青野課長 (西) 秋田課長、(南) 山内課長 (北) 藤田課長、(浜北) 内山課長 (天竜) 鈴木課長

4 傍聴者 1人

5 議事内容

- (1) 令和2年度地域包括支援センター事業評価の実施について
- (2) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について

6 会議録作成者 高齢者福祉課 坂本 田佳子

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 令和2年度地域包括支援センター事業評価の実施について

◎概要

令和2年度地域包括支援センター事業評価の実施について説明し承認を得た。

◎発言内容

(事務局) 資料1-1、資料1-2に基づき説明

<質疑・意見>

(委員)

評価結果は市民に公表されないのか。

(事務局)

運営協議会の会議録としては公開される。評価結果も市民に公開したほうが良いということであれば検討する。

(委員)

評価に関しては、地域住民の声が反映される方がいい。また、関係機関の方からのヒアリングも必要ではないか。

(事務局)

第三者評価ということであれば、今年度の実施は難しいが、今後検討していきたい。

(委員)

昨年度の自己評価については、地域包括支援センターによって書かれ方がばらばらだったが、今年度はどのように改善を行うのか。

(事務局)

自己評価の記入に関しては、質問事項だけを見て記入するため、厳しく記入するところとそうでないところがある。ヒアリングを行い、細かく聞きとり、自己評価の記入内容が正しいかを確認していく。

(委員)

細かな評価指標を出している市町もあると思うが、指標的なものは出しているか。

(事務局)

地域包括支援センターに対しては、細かな指標は出していない。細かな指標を出したとしても、あいまいな部分が残るため、ヒアリングで確認し調整していくことが必要と考えている。

(委員)

市民感覚でとらえるならば評価結果の公開は必要かもしれないが、公開されると独り歩きをしてしまう。書き方の影響があるようであれば、公開は難しいのではないか。

(委員)

二次質問に対しては中まで読み込まないと、それが地域の問題なのか、センターの問題なのかかわからない。今後は、指標を数値化し客観的に評価していかないと、読み取る方も書く方も自己評価は難しいので、進化させていって欲しい。

(委員)

昨年度、実地調査に同行する中で、聞き取りをした人によって評価にばらつきがでていのではないかと感じる。評価する側も具体的な基準が必要ではないか。

(事務局)

評価する側も統一の基準は必要だと思っている。昨年度も、評価担当者の中で、ある程度の基準を設けて評価している。

(委員)

何でばらつきがあるのか。

(事務局)

聞き取りをした担当職員が行う最初の段階での評価については、担当者によってばらつきがあるため、担当者が集まり摺り合わせを実施し、最終的な評価をしている。

(事務局)

今年度はコロナの関係でヒアリング方式とし、複数の職員で対応する予定である。概ね、職員2人のうち一人はすべてのセンターのヒアリングに同席するよう調整していく。

(委員)

コロナの影響で地域包括支援センターは、在宅医療の多職種による研修や認知症サポーター養成講座などの企画が、ほとんどできなかった。できなかった事業は、評価する際汲み取ってくれるのか。

(事務局)

それも想定はしている。コロナの影響によりできなかった事業もあるが、できない代わりにコロナの影響を踏まえて行った活動もあるのでそれを評価する。地域の状況を見ながら活動をしている地域包括支援センターもあるので聞き取っていききたい。

(委員)

市から統一した代替事業の案内は出したのか。

(事務局)

今年度初めに、不特定多数を集めて行うような事業については、控えるように指示している。ある程度治まった時点で、注意点を示し通知しているが、コロナの影響で費用がかさみ、委託料の範囲内ではできないという声もあったため、その点は無理にやらなくていいと伝えている。逆にコロナの影響で高齢者の虚弱化が心配されるため、フレイル予防等、別の活動を検討するよう伝えている。

(会長)

他に意見はないか。

(会長)

それでは、次にすすめさせていただく。

(2) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について

◎概要

予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について説明し承認を得た。

◎発言内容

(事務局) 資料2に基づき説明

<質疑・意見>

(会長)

意見はないか。

異議はないか。

(委員一同)

異議なし。

(会長)

それでは、この議題については、委員から承認が得られたものとする。

4 その他

『はままつ友愛の高齢者プラン』の策定について

(事務局) 資料に基づき説明

《連絡事項》

本日の議事録は、作成後送付するので確認を願う。

5 閉 会